

新花巻図書館整備基本計画を策定しました

【問い合わせ】
本館新花巻図書館
計画室(☎41-3615)

新花巻図書館整備基本計画の概要

5月19日に開催された教育委員会議定例会で、JR花巻駅前を建設候補地とした「新花巻図書館整備基本計画」(以下、基本計画)が承認されました。また、6月10日の市議会定例会で、新花巻図書館整備に関する設計業務の実施などに係る補整予算が議決されました。

今後、新花巻図書館の建設に向けて、設計などの業務を進めていきます。

基本計画は市ホームページに掲載しているほか、本館新花巻図書館計画室、各総合支所地域づくり係、市内図書館、まなび学園、振興センター、ぶらっと花巻で閲覧できます。



施設にはさまざまなスペースを設置

新花巻図書館の延べ床面積は4500平方メートル程度。「ユニバーサルデザイン(バリアフリーへの対応)」とし、さまざまな人が利用しやすい施設を目指します。

本の閲覧には、静かに閲覧したい人のための防音スペースや、自由に話ができるスペースなどを設置します。そのほか、個人またはグループで学習ができるスペース、多人数で生涯学習活動ができるスペース、音楽や映像などの視聴覚資料を利用できるスペース、喫茶などのラウンジ

なども設置します。

また、多目的に活用できるスペースも設置します。



70万冊の収蔵スペースを確保

新花巻図書館の収蔵スペースは、資料増加に対応するために約70万冊を収蔵できるスペースを確保する計画です。

蔵書数については、新花巻図書館のオープン時には約28万冊(現在の花巻図書館の蔵書数は約20万冊)を予定し、その目標に向けて計画的に図書などを購入していきます。その上で、図書のデジタル化の進展や市の人口・財政状況などによって、蔵書数などについて、その時々状況に応じて柔軟に対応するものとします。

目安となるスペース別面積規模

区分	目安となる面積
エントランススペース ▶エントランス▶ラウンジスペース(喫茶など)	200平方メートル程度
開架、閲覧スペース ▶展示・情報コーナー▶案内・サービスカウンター▶資料検索コーナー▶レファレンスサービスカウンター▶書架・閲覧スペース▶視聴覚スペースなど	2,200平方メートル程度
閉架書庫スペース	800平方メートル程度
その他スペース ▶学習スペース▶講座・集会・会議室▶高齢者や障がい者などへのサービス対応室▶親子ふれあい室▶多目的ギャラリーなど	800平方メートル程度
図書館業務スペース ▶事務室▶地域・学校図書館サービススペース▶作業スペースなど	500平方メートル程度

多様化するニーズに応える図書などの収集

現在の花巻市立図書館は「文学」の図書などの割合が多くなっています。

新花巻図書館の整備に当たっては、多様化する市民ニーズに対応するため、出版状況や他市の図書館を参考に蔵書構成のバランスを考へ、文学以外の図書などを増やすことも検討し、開館に向けて具体的な蔵書計画を策定します。

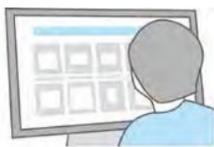
① 文学以外にも広い分野の収集

- ① 一般、児童、ティーンズ、高齢者障がい者など、幅広い世代に対応した分野を収集
- ② 一般図書は、読書、生活、調査研究などに役立つ多様な資料を収集
- ③ 児童図書は、読み物、絵本など興味を広げる図書を収集
- ④ ティーンズ向け資料は、進学や就職などに応じた資料を収集
- ⑤ 高齢者向け資料は、保健、福祉、医療、余暇などに役立つ図書などを収集

② 郷土資料の収集・保存を拡充

- ① 宮沢賢治、高村光太郎、萬鉄五郎、新渡戸稲造などの資料を収集・保存。閲覧スペースに配架
- ② 宮沢賢治に関する資料は、今後の出版資料や未所蔵の古本も積極的に収集。イーハトーブ館が保有している宮沢賢治に関する専門的な研究資料や絶版等入手困難な資料などは引き続きイーハトーブ館で保有
- ③ 先人や郷土、本市行政資料などを収集・保存

宮沢賢治出身地ならではの図書館に



新花巻図書館には、宮沢賢治専用のスペースを設けることを検討します。宮沢賢治に関する資料は、今後出版される図書資料はもちろん、未所蔵で購入可能な資料についても古本を含め積極的に収集するなど、宮沢賢治に関する資料の充実を図るとともに、イーハトーブ館で引き続き保

③ 視聴覚資料・電子資料の活用

- ① 視聴覚資料と機材を収集・整備
- ② デジタルデータの保存と活用
- ③ 視聴覚ライブラリーの教育教材や機材の保管・活用
- ④ 専門的資料などをデジタル化

- ④ 先人に関する図書企画展、イベントなどを開催